

# クラウド利用ガイドラインに基づく インターネットの利用にあたっての 注意点

2019年  
東京都市大学 情報基盤センター

# 1. インターネットの各種サービスの利用について

スマートフォンを誰もが使うようになり、その結果、便利なサービスが簡単に使えるようになりました。これらのサービスの多くはクラウドサービスと呼ばれるもので、インスタグラムなどのSNSや、Google,iCloudなどもクラウドサービス的一种です。

クラウドサービスは正しく使うと大変便利ですが、一方でいろいろなリスクも潜んでいるため、このガイドラインを読んで安全に使うようにしましょう。



## 2. 身近なクラウドサービス

以下のようなサービスは全てクラウドサービスです。ここではこのようなサービス（アプリ）の利用についての注意点を説明しています。

- 各種SNS（Line, Instagram, Twitter, FaceBook）



- iCloud、Googleなどの総合サービス



- 各種匿名アップローダーやOneDrive、EverNote、BOXなどのストレージ系サービス



- AWS、Microsoft Azure、さくらインターネットなどのレンタルサーバーや仮想サーバー



# 3. SNS等の利用にあたって

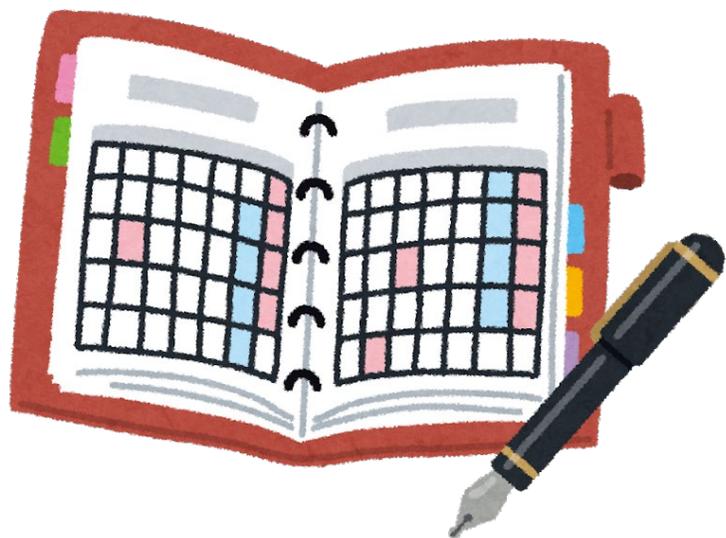
SNSへの投稿は基本的に誰にでも見られる状態にあると思います。住所や電話番号、あるいはプライベートな写真など、不特定多数の人に見られると支障がある情報の受け渡しには使わないようにしてください。



## 4. 予定調整サービスの利用について

予定調整サービス（りざぶ郎・ちょー助等）は、入力した内容が無関係の誰かに見られる可能性があります。

名前欄には苗字のみ・ニックネームを入れるようにして、スケジュール調整のみに利用し、電話番号やメールアドレスなどプライベートな情報はできる限り記載しないようにしましょう。



# 5. 住所録等の取り扱いについて

サークルや研究室の住所録・連絡先リスト等を共有する時は基本的にTCUメールを使って行いましょう。SNSのメッセージに添付として付けるのはかなり危険ですので、やらないようにしてください。

ストレージ系のサービスを使って共有する際は、以下の注意点を守って共有しましょう。

1. ファイルをパスワード付き（Officeのパスワード機能やパスワード付きZIPで圧縮する）にして、アクセス方法を別途連絡をする。
2. GoogleやiCloud、OneDrive※といった本人確認をした上で利用するストレージサービスを使って共有する。ただし、設定によっては無差別にデータが公開されてしまうときがあるので、必ず特定の個人を指定して共有するようにする。

※これらのサービスは海外法人のサービスであるため、大学のガイドライン上、これらのサービスを使って個人情報を共有するのは本来避けるべきです。ただし、ここに挙げたようなGoogleやiCloud、OneDriveといったサービスは国内窓口もあり、実績もあるため、特例として小規模な住所録の共有の為に利用できるものとします。



# 6. 研究に関する情報の取り扱いについて

研究室等で取得した研究のデータ等を学外に共有する際は、どのようなやり方で共有するかあらかじめ教員に相談をしましょう。

URLのみでアクセスできるアップローダーなどは無関係の第三者にデータを取得される可能性があるため、使わないようにしましょう。

